

# MUSIC DIALOGUE

## DISCOVERY SERIES

2017-18



主催：一般社団法人 Music Dialogue 共催：一般社団法人 サポートミュージックソサイエティ  
助成：日本音楽財団（日本財団助成事業）、芸術文化振興基金助成事業  
認定：公益社団法人 企業メセナ協議会 Photo: TAIRA TAIRADATE





## ディスカバリー・シリーズとは？



普段は公開されない音楽づくりの舞台裏を覗き見たり、演奏者の息遣いまで感じられるほどの至近距離で生演奏が聴けたり、演奏者との対話できる時間があったりと、まるでドキュメンタリー番組を見ているかのような感覚でクラシック音楽の魅力を感じることが出来るコンサートシリーズです。クラシック音楽に馴染みのない方でも室内楽の魅力や楽しさを最大限体験してもらえよう、これまでとは異なる、新しい音楽の楽しみ方を提案します。

## 本シリーズを愉しむ3つのポイント



### [1] 解説付き公開リハーサル

リハーサルは普段公開しない厨房のようなもの。ここを覗けば、演奏会をもっと楽しめるようになります。音楽に詳しくないという方でもスクリーンにリアルタイムで解説が流れますので、どなたにでもお楽しみいただけます。

- 👍 リハーサルは単なる練習ではなく創造の場！
- 👍 解説があるので、音楽用語を知らなくても大丈夫！



### [2] 演奏会を楽しむ

Music Dialogueのコンサートは、観客と奏者が驚くほど近いのが魅力です。会場となるセントレホールはステージがないため、最前列の席からは奏者が目と鼻の先。音楽家たちと同じ空気感を肌で感じながら演奏をお楽しみいただけます。

- 👍 目の前で繰り上げられる臨場感！
- 👍 大きなホールではわからない呼吸を一緒に感じる！



### [3] ダイアローグ

演奏後にはお酒やソフトドリンクを飲みながら「ダイアローグ」のお時間です。あなたが公開リハや本番の演奏を聴いたときに感じた疑問を直接演奏者に聞くことができるので、気付きをより深めたりすることができるでしょう。

- 👍 どんな素朴な疑問でも大歓迎！
- 👍 ダイアローグ後も時間のゆるす範囲で歓談できます！

## お客様からのご感想

室内楽の醍醐味は演奏者同士の親密な対話にある。この対話はどうのように作り上げられていくのか。昨年12月に自由が丘の旧園田高弘邸で開かれた公開リハーサルで、そのプロセスを字幕解説付きで楽しんだ。手を伸ばせば体に触れる間近で、4人の音楽家がシューマンのピアノ四重奏曲に秘伝の「隠し味」を仕込んでいく。その秘密のレシピがスクリーン上に文字で実況中継される。「ここは内声を受け持つヴィオラの聴きどころ！」といった臨場感たっぷりの解説だけでなく、大山の指導にも合いの手が入る。「先生、実は怒っていたりして……」などと書かれると、こちらも思わず緊張する。演奏家の心理に迫る新たな音楽体験は、聴き手の音楽理解を深めてくれる。2日後に行われたコンサートでは、リハーサル見学を通して室内楽のエッセンスに触れた聴衆の存在に触発されて、演奏のクオリティはさらに一段と高まっていた。音楽による対話の理想の姿が、そこにはあった。

[男性／新聞記者]



## 芸術監督からのご挨拶



若い演奏家が一定の評価を得るには、どこの世界でもある“経験を積む”と云う事しかありません。“経験を積む”とは、ただ場数を踏むと云う事ではなく、練り上げた解釈を演奏に実行し、評価された結果を積み重ねることです。このように音楽創りを芸術観と共に試行できる環境を、若い世代の奏者に提供することも“Music Dialogue”の大事な使命です。私たちの“経験を積む”には欠かせない重要な要素がもう一つあります。それは、聴衆の皆様です。我々は、聴いていただく方々に育てられているといっても過言ではありません。この組織が発足して4年目に入ります。ここまで、温かく見守り、育てていただきましたように、これからも厳しく、そして暖かい御意見をいただきながら、切に御支援のほどを宜しくお願い申し上げます。

Music Dialogue 芸術監督 大山平一郎

## Music Dialogue のコンサートを通じて得られたこと

はじめて大山先生と一緒に演奏させて頂いた時、大きな衝撃を受けました。それまで、思うように演奏できない原因は主に技術的な事にあると思っていましたが、室内楽としての音の作り方・息遣いを肌で感じ学ぶ事により、音楽に対するアプローチの仕方が変わりました。長年第一線で活躍されてきた先生と共演し、確かなる成長を実感できました。

ヴァイオリニスト 藤田尚子



大山先生が凄いの「こういう音を出して」とか「ここをこういう風にして」とか言葉で説明されなくても、先生の出される音を聴いていればどういう音が求められているのか、こういう音楽を作るのだということが全て演奏に滲み出ていることです。だから一緒に弾いていると、どういう音を出せば良いのかというイメージが自分の中で段々と湧いてくるのです。以前よりも自信をもって演奏できるようになりました。

チェリスト 加藤文枝



## Music Dialogueとは



Music Dialogueは、ヴィオラ奏者・指揮者として世界的に活躍する大山平一郎が、若い頃に往年の巨匠演奏家たちから直接学んできた音楽の真髄を、聴衆の皆様や若い音楽家たちに伝え、受け継ぐために立ち上げた一般社団法人です。世界の檜舞台で活躍できるような日本の若手演奏家を育成すると共に、室内楽のファンを増やすため、室内楽を通じた様々な「対話Dialogue」を生み出す活動を行っています。

Music Dialogueのコンサートでは、「完成形」の音楽を観客として聴くのととはまた違った、ワクワクドキドキ感のある経験ができました。リハーサルでは、演奏家のみなさんが、時代背景や作曲家の境遇を想像しつつ作曲家の意図を譜面から読み取り、フレーズ一つ一つを大切に音楽を紡ぎ上げる姿を見、みるみる曲が豊かに奥行きを持っていくのを目のあたりにするというぜいたくな経験ができました。そしていよいよ本番。どんなふうに来上がっているのだろうという期待と、子供の発表会を見守る母のような気持ちで臨み、すばらしい演奏を聴かせていただきました。演奏家さんの今後の益々の成長と活躍が楽しみです！

[女性/会社員]



## 2017-2018シーズン ラインナップ

2017年4月21日 (金) 19:00開演

字幕解説付きリハーサル：4月17日 (月) 18:00-19:30

室内楽入門にもうってつけの超名曲メントリ（メンデルスゾーンの三重奏）と、芸術監督大山が最も敬愛する作曲家ブラームスによる交響曲を思わせる四重奏を組み合わせ！

曲目	メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第1番 ニ短調 作品49 ブラームス：ピアノ四重奏曲第3番 ハ短調 作品60
出演	酒井有彩 ピアノ 伊東真奈 ヴァイオリン 大山平一郎 ヴィオラ 加藤文枝 チェロ

2017年9月20日 (水) 19:00開演

字幕解説付きリハーサル：9月11日 (月) 18:00-19:30

ブラームスと並んで大山が敬愛しているモーツァルト作品のなかでも、暗い短調の作品には特別なエネルギーが満ちています。併演されるのはフランス音楽ながらもワーグナーから影響を受けた重厚なフランクの音楽。

曲目	モーツァルト：ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 K478 フランク：ピアノ五重奏曲 ヘ短調
出演	江崎萌子 ピアノ 千葉清加 ヴァイオリン 土岐祐奈 ヴァイオリン 大山平一郎 ヴィオラ 金子鈴太郎 チェロ

2017年12月7日 (木) 19:00開演

字幕解説付きリハーサル：12月3日 (日) 午後

オーボエを含む、珍しい組み合わせの四重奏といえば、モーツァルトとブリテンの作品です。ブリテンも十代から天賦の才能を発揮した作曲家で、この作品は19歳のときのもの。モーツァルトの弦楽四重奏曲では、晩年に到達した円熟の境地を聴くことが出来ます。

曲目	モーツァルト：オーボエ四重奏曲 ヘ長調 K370 モーツァルト：弦楽四重奏曲第21番 ニ長調『プロシヤ王第1番』K575 ブリテン：ファンタジー（オーボエ四重奏曲） 作品2
出演	橋爪恵梨香 オーボエ 矢野玲子 ヴァイオリン 伊東真奈 ヴァイオリン 大山平一郎 ヴィオラ 伊東裕 チェロ

2018年3月9日 (金) 19:00開演

字幕解説付きリハーサル：3月6日 (火) 夜

モーツァルトと並ぶもうひとりの神童メンデルスゾーン。今回演奏される四重奏は18歳の時に書かれたものですが、晩年のベートーヴェンを想起させる作品となっています。対して五重奏はメンデルスゾーンが亡くなる2年前に作曲された円熟の一品。

曲目	メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第2番 イ短調 作品13 メンデルスゾーン：弦楽五重奏曲第2番 変ロ長調 作品87
出演	エール弦楽四重奏団 山根一仁、毛利文香、田原綾子、上野通明 大山平一郎 ヴィオラ

### 公演会場・入場料金等のご案内 ※全公演共通

会場	南麻布セントレホール 日比谷線「広尾駅」1番出口より徒歩6分 <a href="http://www.centre-hall.com/access.html">www.centre-hall.com/access.html</a>
入場料	公演：一般4,000円 学生2,000円 リハーサル：一般1,000円 学生500円 ※いずれも当日精算とさせていただきます。 ※リハーサル、本公演両方ご参加いただく場合には 本公演チケット代から500円引きさせていただきます。 お申し込みは下記ページより <a href="https://goo.gl/NXCOIU">https://goo.gl/NXCOIU</a>



### お問合せ先

一般社団法人Music Dialogue

メール： [info@music-dialogue.org](mailto:info@music-dialogue.org)

Webサイト： [www.music-dialogue.org](http://www.music-dialogue.org)

Facebookページ： [facebook.com/m.dialogue](https://facebook.com/m.dialogue)